



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 7 月 26 日

上場会社名 株式会社シモジマ 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 7482 URL <http://www.shimojima.co.jp/>  
 代表者 代表取締役社長 下島和光  
 問合せ先責任者 取締役経理本部長 谷中浩三 TEL (03) 3862 8626

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績 ( %表示は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	10,992	4.0	524	28.7	710	8.4	389	8.6
19年3月期第1四半期	10,569	6.5	736	4.0	774	0.3	425	0.3
19年3月期	44,421		2,968		3,220		1,760	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	16.05	
19年3月期第1四半期	17.56	
19年3月期	72.62	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	30,065	24,527	81.6	1,011.81
19年3月期第1四半期	29,417	23,545	80.6	971.29
19年3月期	29,726	24,516	82.5	1,011.34

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	481	205	363	5,008
19年3月期第1四半期	201	274	424	5,452
19年3月期	399	811	787	5,095

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第1四半期末
(基準日)	円 銭
19年3月期第1四半期	
20年3月期第1四半期	

## 3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

( %表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	21,891	4.4	1,139	3.8	1,374	1.1	761	1.5	31.43	
通期	46,340	4.3	3,211	8.2	3,538	9.9	2,005	13.9	82.74	

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想は、平成19年5月14日発表の業績予想を修正しております。上記予想に関する事項は、添付資料の4頁をご参照下さい。

## 4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日~平成19年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人所得の増加など景気の緩やかな拡大が見られますが、一方では、原油価格の高騰による原材料高や金利の上昇懸念など、最終消費は依然不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社は「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発及び提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第1四半期の新規出店は1店舗、増床を含めたりニューアルを13店舗おこないました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、統一売出等の販促活動により売上の確保を図りました。ディーラールートでは、生花・園芸及び花材業界への販売が引き続き好調に推移するとともに、更に新規販売ルートの開拓も順調に進んでおります。ユーザールートでは、提案型営業及びWebによるBtoBオーダーシステムなどにより、新規・深耕開拓が順調に進み、取引先の拡大及び売上高の増加を達成しております。この結果、営業販売部門の当第1四半期売上高は72億80百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、浅草橋6号館では各種講習会の開催により、関連商材の売上が伸びております。また、新規開店のプライダルボックス広尾店(渋谷区広尾)を始め、ギフトラップ館・心齋橋店・名古屋店ではプライダル関連商品の売上が順調に推移しております。この結果、直営店販売部門の当第1四半期売上高は37億12百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

これらの結果、全社の当第1四半期売上高は109億92百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰を続けており、販売価格への転嫁が限定的であったことなどから、全社の売上原価率は上昇いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては、田沼配送センターの拡張工事関連及び新規店舗開店にともなう家賃の支払い等により増加しております。

この結果、当第1四半期の営業利益は5億24百万円(前年同期比28.7%減)、経常利益は7億10百万円(前年同期比8.4%減)、四半期純利益は3億89百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成19年3月期末との比較であります。)

資産の部においては、流動資産が1億61百万円増加いたしました。これは主に営業販売部門の売上が比較的順調に伸び、それにより売掛金が1億41百万円増加したこと等によるものであります。固定資産も1億78百万円増加いたしました。有形固定資産では本社増築工事及び心齋橋ビル改装工事等で1億8百万円増加いたしました。投資等では投資有価証券が73百万円、長期貸付金が28百万円増加し、一方で敷金・保証金等で37百万円減少し全体では67百万円増加いたしました。これらの結果、資産全体では3億39百万円増加いたしました。

負債の部においては、流動負債が1億34百万円増加いたしました。これは売上の増加等に伴い買掛金が3億45百万円、未払金が52百万円増加し、未払法人税等が4億90百万円減少したこと等によるものであります。固定負債も1億94百万円増加いたしました。これは年金資産の再計算による余剰金を清算したことにより退職給付引当金が1億85百万円増加したこと等によるものであります。これらの結果、負債の部全体では3億28百万円増加いたしました。

純資産の部においては、11百万円増加いたしました。これは利益剰余金が25百万円増加し、評価換算差額が13百万円減少したことによるものであります。この結果、純資産は245億27百万円となり自己資本比率は81.6%となりました。

当期中における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、4億81百万円増加いたしました。これは売上等の営業収入が増加したこと、適格年金の再計算による余剰金の戻りがあったこと、及び法人税等の納付額が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2億5百万円減少いたしました。これは主に本社の増築工事及び心齋橋ビルの改装工事費用の決済のための支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3億63百万円減少いたしました。これは期末配当金の支出によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当期のわが国経済は、引き続き堅調に推移するものと思われませんが、全般的な原料価格の高騰や金利の上昇懸念など、当社を取り巻く環境は依然不透明な状況にあります。

このような状況のもとで、当社はお客様のニーズに的確に対応できる商品開発や物流システムの拡充、そして営業販売、直営店販売の両面から、販売体制を強化してまいります。

第1四半期において、売上高は予定通り推移しております。しかし、売上原価率は原材料価格の更なる高騰などから、昨年同期比で1.4%ポイント上昇しております。第2四半期中には販売価格への転嫁の効果が出てくるものと予想しております。また、第1四半期における販売費及び一般管理費の昨年同期比の増加に関しては、田沼配送センターの増設に関連する経費及び新規開店店舗の家賃等に関する増加であり、予算の範囲内です。

以上の状況から、中間及び通期の業績について、次の通り修正いたします。

## (中間期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,891	1,262	1,386	778	32 10
今回修正予想(B)		1,139	1,374	761	31 43
増減額(B-A)		123	12	17	67
増減率(%)		9.7	0.9	2.1	2.1
前中間期実績	20,967	1,183	1,359	750	30 95

## (通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,340	3,335	3,551	2,084	85 99
今回修正予想(B)		3,211	3,538	2,005	82 74
増減額(B-A)		124	13	79	3 25
増減率(%)		3.7	0.4	3.8	3.8
前期実績	44,421	2,968	3,220	1,760	72 62

## 4. その他

## (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産、税金費用等につきましては、一部簡便的な方法を採用しております。

## (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5.(要約)四半期財務諸表

[添付資料]

## (1)(要約)四半期貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月 期第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月 期第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	15,494	16,224	730	4.7	16,063
現金預金	5,452	5,008	444	8.1	5,095
受取手形	863	971	107	12.5	968
売掛金	3,751	4,027	276	7.4	3,886
たな卸資産	4,897	5,518	621	12.7	5,458
繰延税金資産	225	200	24	10.9	191
その他	357	508	151	42.3	472
貸倒引当金	52	10	42	80.5	10
固定資産	13,923	13,841	82	0.6	13,662
有形固定資産	12,163	12,319	156	1.3	12,211
無形固定資産	49	52	2	5.6	51
投資その他の資産	1,710	1,468	242	14.2	1,400
繰延税金資産	133	18	115	86.3	18
その他	1,583	1,466	117	7.4	1,399
貸倒引当金	7	16	9	138.4	16
資産合計	29,417	30,065	647	2.2	29,726
(負債の部)					
流動負債	4,699	4,547	151	3.2	4,413
支払手形	303	328	24	8.2	303
買掛金	2,881	2,646	234	8.1	2,300
未払金	549	544	4	0.8	492
未払法人税等	311	300	11	3.6	791
その他	653	728	74	11.4	526
固定負債	1,172	989	182	15.6	795
預り敷金保証金	148	158	10	6.8	157
退職給付引当金	83	187	103	125.2	1
役員退職慰労引当金	423	268	155	36.7	260
再評価に係る繰延 税金負債	517	376	140	27.2	376
負債合計	5,871	5,537	334	5.7	5,209

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月 期第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月 期第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
株主資本	1,405	1,405			1,405
資本剰余金	1,304	1,304			1,304
利益剰余金	26,819	28,030	1,211	4.5	28,005
土地再評価差額金	6,069	6,275	205	3.4	6,275
その他有価証券評 価差額金	103	80	23	22.6	80
繰延ヘッジ損益					13
自己株式	16	17	0	4.2	17
純資産合計	23,545	24,527	981	4.2	24,516
負債・純資産合計	29,417	30,065	647	2.2	29,726

(2) (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月 期第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	10,569	10,992	423	4.0	44,421
売上原価	7,283	7,727	444	6.1	30,829
売上総利益	3,285	3,264	21	0.6	13,591
販売費及び一 般管理費	2,549	2,739	190	7.5	10,623
営業利益	736	524	211	28.7	2,968
営業外収益	99	210	111	111.7	400
営業外費用	60	25	35	58.7	148
経常利益	774	710	64	8.4	3,220
特別利益					10
特別損失		1	1		232
税引前四半期 (当期)純利益	774	708	66	8.5	2,998
税金費用	349	319	29	8.5	1,238
四半期(当期) 純利益	425	389	36	8.6	1,760

(3) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期第1 四半期)	当四半期 (平成20年3月期第1 四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	481	399
投資活動によるキャッシュ・フロー	274	205	811
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	363	787
現金及び現金同等物に係る換算差額			
現金及び現金同等物の増減額	899	86	1,229
現金及び現金同等物の期首残高	6,324	5,095	6,324
現金及び現金同等物の期末残高	5,452	5,008	5,095